

第11回理事会を開催

平成15年11月18日東京都千代田区の経団連会館において、第11回理事会を開催しました。

本理事会では平成15年度の活動状況の報告が行われたほか、平成16年度の事業計画の骨子、事務局長の交代、役員改選などについての審議が行われ、新たに町田事務局長が就任するとともに、新任役員は以下のとおりとなりました。

新任役員

(敬称略)

	氏名	所属	役職
理事	伊藤 隆彦	中部電力株式会社	常務取締役
理事	岸田 哲二	関西電力株式会社	取締役副社長
理事	佐藤 健治	原子燃料工業株式会社	専務取締役
理事	町田 祐三	ニュークリアセーフティーネットワーク	事務局長



町田事務局長

英語版ニュースレターの配信開始

11月より、英語版ニュースレター「NSnet News Letter」の配信を開始しました。

NSnet News Letter は3か月に1回程度の発行を予定しており、NSネットの活動、原子力施設運転情報、トラブル情報、プレス情報、NSネット会員紹介を国内外に向けて配信していますので、海外事務所や海外提携企業の方々にもご紹介いただければ幸いです。配信は無料で、英語版ホームページ(<http://www.nsnet.gr.jp/english/index.html>)にて登録いただけます。なお、直接 以下のアドレスからの読者登録も可能です。

http://www.nsnet.gr.jp/english/mag/NMN_eng_Index.html

また、NSネットメールニュース(国内向け)も随時読者登録を受け付けています。

http://www.nsnet.gr.jp/index_mnews.html



The screenshot shows the registration page for the NSnet News Letter. It includes a header with 'Activities' and 'NSnet News Letter'. The main content area contains a list of topics to be included in the newsletter, such as 'Activities of the NSnet', 'Operating status of Japanese Nuclear Facilities', 'Japanese nuclear accidents', 'Press Releases', and 'Introduction about NSnet Members'. There are also fields for 'Please register your name, email address, and other' and 'You can also send "NSnet News Letter" back to us in following name:'. At the bottom, there are buttons for 'Back Numbers' and 'Contact Us', and a prominent 'Register from here!' button.

第7回管理者セミナーを開催

平成15年9月25日に神奈川県横浜市の東京電力(株)電気の史料館において、会員の管理者クラスを対象に第7回管理者セミナーを開催しました。

このセミナーには約110名の方に参加いただき、「失敗学」に関する講演及び会員による過去のトラブル事例とその教訓の反映状況の紹介・ディスカッションを行い、安全風土・安全文化醸成活動について会員間で共有しました。

NSネット梅津事務局長の挨拶、田中安全部長の活動報告のあと、「失敗学のすすめ」と題して、畑村創造工学研究所 代表 畑村洋太郎氏よりご講演をいただきました。

講演では、「失敗の必要性」、「失敗を生かす」、「失敗の原因と結果」、「失敗の必然性」、「失敗知識の伝達」、「失敗を生かす工夫」の各項目について具体的事例を交えた話がありました。



マニュアルは要ります。TQCも要ります。しかし、できあがったものを伝えてさえいればそれでいいと思うところが、大間違いです。

何でもいいから失敗しろというのではなくて、きちんと試す、考える、観察する、ということをやった上で失敗をして、失敗を失敗としてきちんと自分で認識し、みんなで共有するような文化を創り直さなければいけません。

失敗は知識にしなければ伝わりません。わからなければ伝わらない。伝わらなければ使えない。使えないものは、何にもなりません。

畑村氏

講演終了後のアンケートでは、

わかりやすく、また要点も良くまとめられ大変参考になった。職場に持ち帰りトラブル防止に活用したい。

失敗から得た知識を共有化するためにはそれを認める企業風土作りが大切であることがよくわかった。

失敗に対する組織的な取組みの必要性について再認識すると共に、事例から学ぶ努力、姿勢、文化育成の大切さを感じた。

など、多数のご意見をいただきました。

その後、会員の代表から、過去のトラブル事例とその教訓の反映状況を紹介いただき、会場の参加者との間で意見交換が行われました。

また、講演会に先立って行われた見学会では、42名が電気の史料館を見学しました。



講演会及び見学会の様子

NSネットの情報をより手軽に入手することができるよう i-mode 版 NS ネットホームページを開設しました。URL <http://www.nsnnet.gr.jp/i/>

i-mode 版ホームページに対するご意見等も「ご意見・ご相談窓口」までご連絡下さい。

URL <http://www.nsnnet.gr.jp/opinion/top.html>

第34回、第35回相互評価の実施

今回は、第34回の日揮(株)技術研究所及び第35回の中部電力(株)浜岡原子力発電所で行われたピアレビューの状況を紹介します。ピアレビューの概要及び報告書の全文はNSネットのホームページ(<http://www.nsnet.gr.jp/>)に掲載していますのでご覧下さい。

平成15年9月3日から5日にかけて行われた第34回のピアレビューは、北陸電力(株)、原燃輸送(株)、住友原子力工業(株)の専門家及びNSネット事務局(計4名)が評価チームに参加しました。また、9月30日から10月3日にかけて行われた第35回のピアレビューは、核燃料サイクル開発機構、(株)神戸製鋼所、四国電力(株)、三菱重工業(株)、三菱原子燃料(株)の専門家及びNSネット事務局(計6名)が評価チームに参加し、組織・運営、緊急時対策(第35回のみ)、教育・訓練、計画・実施・保守(第34回)/運転・保守(第35回)、放射線防護(第35回のみ)、重要課題対応の各分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。さらに、倫理関係、コミュニケーション等にも注意を払ってレビューしました。

第34回の日揮(株)技術研究所における評価の結果では、2002年に新コンプライアンス・プログラムを策定し、新設された本社コンプライアンス統括室の主導による研修の実施や小冊子携帯の義務付けなどのコンプライアンス啓発活動を、全社一丸となって実施していることが確認されました。また、NSネットの会員外から、元住友化学工業(株)常務理事生産技術研究所長の久保勝夫氏にオブザーバー参加いただき、「一般にもわかりやすい形で数値的な成果の掘り起こしに工夫をこらし、その推移から活動の成果や達成感が皆で享受できることを期待したい。」との講評をいただきました。



報告書の提出

牧野理事長(写真左)より日揮(株)重久会長(写真右)へ

主な良好事例

コンプライアンス・プログラムによる企業倫理の浸透

「日揮テクノカレッジ」の開設について

「所内における試験装置管理の基本フロー」による確実な管理
管理区域に隣接した試験設備の稼働中の危険個所表示及び
緊急時対応の明示

クローズド廃水処理システムによる管理区域内使用水のリサイクル
非原子力分野の研究者との安全情報の共有

主な改善提案

マニュアル類の適正な見直し

放射性同位元素重量確認の現場記録表の設置による管理台帳への
確実な転記

ヒューマンエラー及びヒヤリハット事例の収集、分類の実施

第35回の中部電力(株)浜岡原子力発電所における相互評価の結果、浜岡原子力発電所では、発電所長をはじめ全社員が協力会社も含め一体となって、原子力安全確保を継続・強化していくため、機会あるごとのトップメッセージの発信、協力会社とのコミュニケーションの重視、充実した教育訓練の実施、運転員の資質向上への取り組み等真剣かつ誠実に取り組んでいる実態が確認されました。また、科学技術ジャーナリストの中村政雄氏にオブザーバー参加いただき、「レビュー者が自分の経験をレビューの場で伝えていくことも、レビューのひとつの目的にすべきではないか。」との講評をいただきました。

主な良好事例

経営基本方針から各課の業務執行計画までの有機的具現化

コンプライアンスの取り組み

運転訓練シミュレータを用いたブラインド緊急事態対策訓練の実施

賞詞制度を活用した協力会社も含めた意識の高揚及び職場の活性化

使用済樹脂貯槽修理工事作業における作業方法の工夫による

大幅な被ばく量の低減

改善提案

インターネットホームページの説明の詳細化

ヒヤリハット事例のより高度な活用



報告書の提出

牧野理事長(写真右)より中部電力(株)川口社長(写真左)へ

第53～55回安全キャラバンの実施

今回は第53～55回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
53	H15.10.23	三菱原子燃料(株)	企業行動研究センター 所長 菱山隆二 氏	いま問われる企業倫理 ～企業行動の基盤の見直し～
54	H15.10.24	ニュークリア・デベロップメント(株)	デュポン(株) セーフティ リソース フルフィルメント部長 竹川土夫 氏	デュポンの企業倫理

* : 第53回と第54回の安全講演会は同時開催



菱山氏

部分的な判断だけで一番よいと思っても、全体から見たら最悪の結果になるということがよくあります。

「不祥事は隠せない」ことを認識しておかなくてはいけないということです。

現代においては何が会社に忠誠かという、会社がまずいことをしている、上司がまずいことをしている、それを直す。それが会社を愛することだ、会社への忠誠だということです。



竹川氏

デュポン社では、全ての事業活動および事業活動に関係する全ての人たちが企業倫理の対象になっています。

自社の企業倫理方針や活動計画が主要新聞紙上で紹介されても誇りを持つことができるような実践が求められます。

倫理は特別なものではありません。しかし、倫理は生命に対する特別な敬意なのです。

平成15年11月1日から2日の2日間にわたり、近畿大学が主催し、関西原子力懇談会が共催する、「第6回なるほど原子力展」において展示ブースを出展し、NSネットの活動を紹介しました。

2日間で合計約240名の方々にNSネットのブースにお立ち寄りいただきました。御礼申し上げます。

NSネットでは、今後も、会員と地域の方々とのイベント等に積極的に参加させていただき、NSネット活動の理解促進・普及に努めていきたいと考えています。



NSネット (ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るために設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.22 2003年12月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL:03-5220-2666 FAX:03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnnet.gr.jp>

